

(書式7) 調査研究、要請・陳情実施報告書

議長



令和 6年 5月 9日

自民党市政会
会長 大前 寛 乗 殿

自民党市政会
副会長 楠 井 常 夫

調査研究、要請・陳情実施報告書

下記のとおり実施したので報告します。

1. 期 間 令和 6年 4月30日(火曜日) から
令和 6年 5月 1日(水曜日) まで
2. 視 察 先 (1) 要請・陳情
(要請・陳情) 国土交通省(道路局、鉄道局)
地元選出国會議員等
(2) 調査研究
渋谷区ふれあい植物センター
(東京都渋谷区東2丁目25-37)
3. 参加議員名 楠井常夫 ※県内他市議員と合同で活動

4. 調査研究、要請・陳情の概要

(1) 要望書活動・・・別紙参照

- ・橋りょうの老朽化対策における財政措置の拡充 (国土交通省道路局長)
- ・国道11号豊中観音寺拡幅及び大内白鳥バイパスの財政措置 (同上)
- ・四国への新幹線導入 (国土交通省鉄道局長)

参議院議員 磯崎仁彦氏、国土交通省 道路局長 丹羽克彦氏、財務大臣政務官
瀬戸隆一氏については、面会にて要望。また、当日、都合により面会できなかつ

た方々（下記）については、代理人対応または郵送にて要望することとなった。

※外務大臣政務官 三宅伸吾氏、国土交通省 鉄道局長 村田茂樹氏、

自由民主党 ITS 推進・道路調査会会長 金子恭之氏

衆議院議員 平井卓也氏、衆議院議員 山本有二氏、衆議院議員 大野敬太郎氏

（２）「ふれあい植物センターのリニューアルについて」

渋谷区にあるふれあい植物センターを訪問し、担当者より説明を受けた。この施設は平成 17 年 4 月に開設され、渋谷区の環境行政の一環として整備された施設であり、昨年の 7 月にリニューアルオープンした。日本で一番小さな植物園と言われており、この過密な東京という都市空間の中であって一粒の種子から過去と未来を繋ぐ新しく大きな果実を実らせる「育てて食べる植物園」としての地域拠点となることを目的に作られた施設となっている。立地的には、東京都渋谷区を中心に近いところであり、初めは清掃施設と共にこういった施設があることが意外であった。しかし、説明を聞く中で、小さいといえども、多種多様な野菜や果実、また様々な種類の花を効率よく育て、それらを有効に活用して、子供たちの食育や地域のコミュニティツールとしても利用している点は目を見張るものがあり、まさに「育てて食べる」を実践している施設であると感じた。この施設は指定管理で運営しており、効率的な経営環境が整っていた。施設内には喫茶室やレストランも併設しており、育てた物を出来るだけ有効利用して、高鮮度の食材提供が出来る工夫や食材のロスを最小限にとどめる工夫もされていた。このようなコンセプトや様々な工夫は、今後、地域活性化や食育について考える上で参考になると感じた。

※ 要請・陳情先は相手先の所属・職名・氏名を記入して下さい。

○橋りょうの老朽化対策における財政措置の拡充

橋りょうの老朽化対策については、道路メンテナンス事業補助を受け、実施している。

しかしながら、その老朽化対策には多額の費用が必要であり、定期点検で措置を講ずべきと判断された判定区分Ⅲ（構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態）・Ⅳ（構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）の橋りょうについて、市区町村における修繕未着手率は40%を超える状況にある。

よって、道路の利用者の安全・安心を確保するために、老朽化等に伴い、早期に措置を講ずべき修繕等に係る支援のほか、補助率のかさ上げを含む国費の拡充などの更なる財政措置を講じることを要望する。

○国道11号豊中観音寺拡幅及び大内白鳥バイパスの財政措置

国道11号は、香川県を東西に貫く最も重要な幹線道路であり、西讃地域で進められている豊中観音寺拡幅と東讃地域で進められている大内白鳥バイパス事業は、地方の「人」・「もの」・「情報」の交流を支援する「命の道」としての役割がある。また、近年多発する地震や集中豪雨などによる大規模災害時に、救急救命活動や復旧活動を支えるため非常に重要と考える。今後、高い確率で発生が予想される東南海地震が危惧される中、早期整備が求められる。

これまで一部区間が開通しているものの、計画期間が長期にわたる大型事業であり事業着手から相当期間経過している状況であり、事業効果としてあげられている交通渋滞の緩和、通学路の更なる安全性の向上、また地域産業の活性化を達成するためには、残る計画区間について4車線化やバイパスの延伸を早期実現する必要がある。

地方の自立と交流の拡大により、雇用の確保をはじめとする様々な経済活動や観光等が活性化するとともに、安全・安心な日々の暮らしを支えるため「一般国道11号豊中観音寺拡幅と大内白鳥バイパス」に必要な予算を継続的に確保することを要望する。

○四国への新幹線導入

四国内において、国内外からの観光客や会議・イベント等を誘致できる施設のほか、観光資源をつなぎ合わせ、魅力ある広域観光周遊ルートの形成を促進するなど、MICEや観光戦略等を効果的に展開していく上で、四国新幹線の導入は極めて重要である。

このため、四国への新幹線導入に向けて、四国4県をはじめとする行政や、主要経済団体などで構成する四国新幹線整備促進期成会において、国に対して要望活動を行っていることに加え、香川県内17市町長の首長が、香川縣市町長四国新幹線整備促進期成会が設立するなど、官民ともに、その機運が高まってきている。

さらに、本協議会においては、四国新幹線の整備計画格上げ、早期建設の機運の醸成などを目的に、四国新幹線整備促進議員連盟を結成し、県内保守系市議会議員一丸となって、取り組んでいる。

よって、道路鉄道併用橋である瀬戸大橋を有効活用し、岡山から四国の4県都を結ぶ四国新幹線の早期実現のため、整備計画格上げに向けた法定調査を実施するために必要な予算措置を講じるよう要望する。

令和6年5月1日
環境政策課

行政視察 渋谷区ふれあい植物センターのリニューアルについて

1 施設概要

渋谷区ふれあい植物センター

所在地： 渋谷区東二丁目25番37号

敷地面積： 553.02 m²

建築面積： 360.46 m²

開設年月： 平成17年4月



※リニューアル前の外観

※リニューアル後の外観

改修工事期間： 令和4年7月～令和5年4月

リニューアルオープン： 令和5年7月

リニューアルコンセプト：

「農と食の地域拠点」として「栽培・収穫・消費」を体験できる植物園

2 館内案内

3 質疑応答

わたしたち『渋谷区ふれあい植物センター』は、日本で一番小さな植物園として知られるほど小さな植物園ですが、この小さな植物園には無限の可能性が秘められています。

それは、まるで、植物の種のようなです。

どんなに大きな植物も、どんなにたくさん実るをもたらせてくれる野菜も、すべては、一粒の小さな種から生まれます。そして、この種は、わたしたちが生まれるよりずっとずっと遅く遅くから、先人たちが種を蒔き、植物を育て、そしてまた種を蒔き続けてきたからこそ、こうしてわたしたちがその種を手にするこゝに引き継ぐことができていくわけですね。ということは、もし、わたしたちがその種を蒔くことをやめてしまったらしたら。その種は、永遠にこの世界から姿を消してしまうことになるのです。つまり、種とは、過去と未来をつなぐ、今そのものなのです。

翻って、現在の社会において、植物園が持つべき種とはどのようなものでしょうか。普段は目にすることができないような、珍しい植物の種を蒔き、訪れる方々に植物の美しさや素晴らしさを伝えることもとても大切なことですが、それは、全国各地に存在している広大な敷地で何千、何万という種類の植物を育てている植物園がその役割を果たして下さっています。

では、日本で一番小さな植物園である、わたしたち『渋谷区ふれあい植物センター』は、どのような種を蒔くべきなのでしょう。

それは、例えば、都市の中において植物や自然がもたらしてくれる恵みの豊かさを伝えることであったり、植物を通じて人と人が繋がるコミュニティを育むことの大切さだったり、生ゴミをそのまま捨てるのではなく、コンポストを用いて生きた土や堆肥として再生させて、都会だからこそ生まれる「資源」を循環させていけるような仕組みを作ることではないかと考えています。

1年先のことはおろか、明日の未来さえ不確定で流動的な社会において、わたしたちは、植物園をリニューアルするものではありません。訪れてくださるすべての方々の暮らしと社会をリジェネティブなものへとリニューアルしたいのです。

「育てて食べる植物園」として、農や食にまつわる知識や技術や喜びや感動とともに味わいながら、今この瞬間、ここを訪れてくれる、ひとりひとりの都市生活者の方々とともに、過去と未来を繋ぐ、新たな都市生活の可能性という種を蒔いていけるような、そんな農と食の地域拠点でありたいと思います。

渋谷区ふれあい植物センター
園長 小倉崇

渋谷区ふれあい植物センター

【利用案内】

開園時間：10:00～21:00(入場は20:30まで)

休園日：月曜日(祝日または振替休日の場合は翌平日)

入園料：1回100円(無料の場合あり)

当日入園料(小学生以上)	100円
当日入園料(未就学児)	無料
年間バスポート(1年間有効)	1000円
入園料免除(1年間有効) ※詳細は公式HPをご覧ください	無料

渋谷区ふれあい植物センター

〒150-0011 東京都渋谷区東2丁目25-37

TEL: 03-5468-1384 FAX: 03-5468-9385

MAIL: info@sbgf.jp URL: sbgf.jp

【交通案内】

渋谷駅(JR山手線・JR埼京線・JR湘南新宿ライン)

真鳥田園都市線・真鳥真横線・京王井の頭線

東京メトロ銀座線・東京メトロ半蔵門線

から、明治通りを恵比寿方向に直進

真鳥番前の交差点を右折

一本目の左角に渋谷区ふれあいセンターがあります。



SHIBUYA CITY
BOTANICAL GARDEN FUREAI

渋谷区ふれあい
植物センター